

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (都市と農山漁村の教育交流事業)

ふるさと元気づくりパワーアップ事業

大館市教育委員会生涯学習課

【事業のポイント】

- 大館市の独自ツール家庭教育推進事業の出前交流
- 子育てサポーター・中・高生・大学生のスキルを通じた交流
- 交流を通し、互いに元気、人とかかわる楽しさ
- 大館の良さを生かした体験交流
- 町づくりに貢献できる若者の育成



1. 企画

(1) 事業実施の背景

大館市の社会教育・学校教育・家庭教育・幼児教育をプラットフォームと捉え、子育て支援チーム・キャリアボランティア(中・高・大学生)・生涯学習奨励員・社会教育委員・学校関係職員・NPO職員・生産農家の技術のノウハウを生かした講座や遊びを提供する。気仙沼市公民館、児童館での出前交流。互いに交流し、元気づくりを目的とする。

2. 実施概要

(1) 実施主体

大館市教育委員会生涯学習課

都市と農山漁村の教育交流事業実行委員会設置

構成:会長 米澤幸男(校長会会長) 副会長 木立亨(学校教育課長) 委員 山本多鶴子(教育研究所所長) 菅原 純(PTA連絡協議会会長) 浅利博樹(NPO事務局次長) 烏潟美奈子(家庭教育支援チーム)

(2) 開催実績

月 日	内 容
10月17日	気仙沼市本吉公民館にておしゃべりひろばひだまり出前交流
10月31日	気仙沼市鮎立児童館にておしゃべりひろばひだまり出前交流
11月21日	気仙沼市小泉公民館にておしゃべりひろばひだまり出前交流
11月28日	気仙沼市大谷公民館にておしゃべりひろばひだまり出前交流

(3) 推進月間の設定

(4) 事例の収集と発信

事業報告のまとめ(参加者の声)を教育委員会会議報告
第2回実行委員会で事業報告

(5) 意見交換の場の設定

第1回・第2回実行委員会で事業趣旨・ねらい、予定を報告。事業終了後は、事業報告、今後の事業の方向と展開について委員からの意見を出してもらおう。

(6) 新たな青少年体験活動の推進方策の検討と試行

大館の家庭教育・学校教育・社会教育・幼児教育からのプラットフォームを拡大し、市民への周知を行い、地元企業等の賛同も得ていく。

3. 成果と課題

(1) 事業成果

中・高・大学生をはじめとするボランティアは、自分たちのスキルで体験交流することで、「喜んでもらえた」「元気が出た」「帰ってから頑張ろう」などと意欲の声が聴かれた。交流を通して、人とかかわる楽しさ、寄り添える気持ちの大切さを感じ取ったようである。

(2) 事業運営上の課題

- ・来年度事業継続のための財源確保。
- ・プラットフォームをイベント傾向にならないよう、気仙沼市の参加者の気持ちにそったメニューの照会。
- ・家庭教育推進チームの企画力アップ。
- ・家庭教育事業にいかにか中・高・大学生を参加させていくか。

(3) 事業成果の普及啓発の課題

- ・大学公開講座での事業紹介の継続。
- ・参加した子供たちの声を届ける場の設定。
- ・様々なイベントでの啓発啓蒙のための事業紹介展示。

4. 団体プロフィール

大館市教育委員会

〒018-3505 秋田県大館市早口字上野43番地1

Tel: 0186(43)7113 Fax:0186(54)6100

大館市教育委員会 生涯学習課

〒017-0822 秋田県大館市字桜町南45番地1

Tel: 0186(43)7113 Fax:0186(43)3536